

## 露出形抜止コンセント 露出形抜止接地コンセント

シングル EA940CJ-51  
CSSH-9 PW

2P 15A / 125V



シングル EA940CJ-53  
CSSH-9G PW

2PE 15A / 125V



## 露出形 抜止コンセント

ダブル EA940CJ-52  
CSS-99 PW

2P 15A / 125V



## 露出形 抜止接地コンセント

ダブル EA940CJ-54  
CSS-99G PW

2PE 15A / 125V



## 抜止コンセント(㊶ ㊷)使用上のご注意

抜止コンセントの刃受けを損傷させる場合があります。感電や接触不良の原因となりますのでご注意ください。

- 1 開閉(プラグ挿抜)の頻度が多い場所には使用しないでください。使用頻度が多い場所には、2極コンセント(㊶)又は2極接地差付コンセント(㊷)をご使用ください。
- 2 極性付プラグは使用できません。
- 3 プラグはロック位置までしっかり回して使用してください。また、プラグを抜く時は、必ずプラグを持ち左に回して(ロック解除)からまっすぐに引き抜いてください。
- 4 抜止コンセントにプラグをロックした状態で、プラグを引き抜かないでください。また、いちじるしく外れた位置でプラグを抜き差ししないでください。
- 5 プラグの抜き差しやロックが弱くなった抜止コンセントは使用しないでください。
- 6 プラグは、中途半端に差し込んだ状態で使用しないでください。



## 抜止コンセントについて

060,061,062,120,121,124,168,169ページ掲載

- 抜止コンセントの「使用上のご注意」をよく読み、ご使用願います。

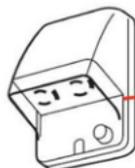
- 高容量電流並びに毎日繰り返し抜き差しする必要のあるEV自動車の充電用途にはご使用になれません。

- EV自動車の充電には「EV専用回路並びにEV専用コンセント」の設置を推奨いたします。



注意

防雨形抜止コンセントはEV充電に常用しないで下さい



防雨形コンセント



抜止形コンセントの極配置  
(JIS C 8303 付図A-17)



電気自動車  
の充電

EV充電用コンセントの極配置  
(日本記録器具工業会規格JWDS-0033)

上図左に示す防雨形コンセントは、主として屋外設置される庭園灯・看板灯や、屋外で一時的に使用される電動工具への給電等にお使い頂くため、プラグ嵌合面を下向きに設け、プラグが意に脱落しないよう、上図中央に示す抜止形の極配置を採用しています。一般的な平刃形のコンセントは、連続負荷開閉5,000回の性能を有していますが、抜止形コンセントの試験規格は連続100回 (JIS C8303に拠る) であり、毎日繰り返し挿抜する必要のあるEV (電気自動車・プラグインハイブリッド自動車) の充電用途にはお使用頂けません。

耐久限度を超え刃受けの開いた抜止コンセントで、EVのような高容量負荷の使用を続けると、大電流通電時の温度上昇が著しくなり、プラグ・コンセントの熱損や、発煙・発火に至るおそれがあります。

EVの充電には、JWDS-0033「EV充電用コンセント・差込プラグ」に適合したコンセントをお使い下さい。